

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

1 定期事業者検査の判定方法

No.	項目	変更理由	該当ページ
1	重大事故等クラス1 機器供用期間中検査	特定重大事故等対処施設の供用開始に伴い、追加した。	2
2	JSME S NA1-2012/2013 追補/2014 追補	非破壊検査時の判定根拠に用いている「発電用原子力設備規格 維持規格」の適用年版の変更	3

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1) のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月（定期事業者検査終了からの期間）以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1 機器供用期間中検査
- ・クラス2 機器供用期間中検査
- ・クラス2 管（原子炉格納容器内）特別検査
- ・重大事故等クラス1 機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2 機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3 機器漏えい検査
- ・中央制御室の居住性確認検査
- ・構造健全性検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査

○また、第26サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間（13ヶ月）に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその形 跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持 規格」(JSME S NA1-2012/2013追 補/2014追補)に規定されている超音波探傷試験、 渦流探傷試験、浸透探傷試験、目視試験等によって、 機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定***、 校正、設定値確認検査等を行い、機器等の特性を確認 する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後、定格出力近傍で原子力発電所の 運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常であ ること及び各種パラメータが妥当な値であることを確 認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類六 前回の定期事業者検査報告内容(添付書類二及び三)についての評価結果

川内原子力発電所 第2号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付－1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果

添付－2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績

保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類 1	分類 2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2020. 2. 1 ～ 2021. 10. 31	プラントレベルの保全活動管理指標が全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②システムレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPFF 2020. 2. 1 ～ 2021. 10. 31 UA 2019. 7. 1 ～ 2021. 10. 31	システムレベルの保全活動管理指標が全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、点検報告書等	2020. 2. 1 ～ 2021. 10. 31	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、定期事業者検査評価・改善報告書等により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2020. 2. 1 ～ 2021. 10. 31	不適合・是正処置報告書により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価の結果	⑤高経年化技術評価及び安全性向上評価	2020. 2. 1 ～ 2021. 10. 31	川内 1,2 号機の高経年化技術評価（長期保守管理方針）及び安全性向上評価（安全性向上計画等）により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2020. 2. 1 ～ 2021. 10. 31	未然防止処置対策実施確認票により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報（NUCIA 情報）		
	⑧海外情報		通達等の文書により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項（設計及び工事の計画）として、高エネルギーアーク損傷に伴う火災発生防止対策工事を反映する。
f. リスク情報、科学的知見	⑩リスク情報	2020. 2. 1 ～ 2021. 10. 31	川内 1/2 号機確率的リスク評価（PRA）の実施に伴うリスク重要度の評価結果により評価を行った結果、保全活動管理指標、保全重要度等の変更を行う。 別紙－1 参照
	⑪電力共通研究・技術開発		保全へ反映すべき情報はなかった。
g. その他	「a～f」以外の保全の有効性評価に必要と判断される情報	2020. 2. 1 ～ 2021. 10. 31	方針決定文書等によって、保全方式又は頻度等の変更を行う。 別紙－1 参照

1. 方針決定文書等によって、保全への反映を行う事項

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
保全活動管理指標			
1	化学体積制御系統	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
2	安全注入系統	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
3	余熱除去系統	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
4	原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能（直接関連系）、事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
5	所内電源系統（M/C、P/C）	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
6	直流電源系統	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
7	原子炉保護制御装置	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
8	重大事故等対処設備	原子炉格納容器スプレイをするための設備（SA-2）と重大事故等の収束に必要な水の供給設備（SA-2）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「低」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<1回/サイクルから<2回/サイクルへ変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
設計基準事故対処設備等			
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備) 2A使用済燃料ヒート冷却器	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。	
2	2B使用済燃料ヒート冷却器	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。	
3	2C使用済燃料ヒート冷却器	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。	
4	原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備) 2 A 1次冷却材ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検及び非破壊試験の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
5	2 B 1次冷却材ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検及び非破壊試験の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
6	2 C 1次冷却材ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検及び非破壊試験の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
7	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 2-PCV-3610 2 A 主蒸気逃がし弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
8	2-PCV-3620 2 B 主蒸気逃がし弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
9	2-PCV-3630 2 C 主蒸気逃がし弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
10	2V-MS-620A 2 A T/D AFWP 蒸気入口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
11	2V-MS-620B 2 B T/D AFWP 蒸気入口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
12	2V-MS-575A 2号 T/D AFWP A蒸気元弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
13	2V-MS-575B 2号 T/D AFWP B蒸気元弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
14	原子炉冷却系統施設 (余熱除却設備) 2V-RH-021A 2 A RHR S-CH/S I ポンプ連絡弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
15	2V-RH-021B 2 B RHR S-CH/S I ポンプ連絡弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
16	2V-RH-003A 2 A RHR S 入口弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
17	2V-RH-003B 2 B RHR S 入口弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
18	2V-RH-024A 2 A RHR クーラ出口連絡弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
19	2V-RH-024B 2 B RHR クーラ出口連絡弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
20	2-FCV-601 2 A RHR ポンプミニマムフロー弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
21	2-FCV-611 2 B RHR ポンプミニマムフロー弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
22	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 2号 蓄圧タンク充てんポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「78M」から「91M」に変更する。	
23	2V-SI-193A 2 A RHR S C/V再循環弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
24	2V-SI-193B 2 B RHR S C/V再循環弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
25	2V-SI-132A 2 A 蓄圧タンク出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
26	2V-SI-132B 2 B 蓄圧タンク出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
27	2V-SI-132C 2 C 蓄圧タンク出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
28	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 2-FCV-138 2号 充てん流量調節弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
29	2-FCV-140 2号 封水注入流量調節弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
30	2-HCV-190 2号 余剰抽出流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
31	2-LCV-121B 2号 体積制御タンク第1出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
32	2-LCV-121C 2号 体積制御タンク第2出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
33	2V-CS-290A 2 A RCP No. 1シール出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
34	2V-CS-290B 2 B RCP No. 1シール出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
35	2V-CS-290C 2 C RCP No. 1シール出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
36	2V-CS-300 2号 RCP No. 1シールバイパス弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
37	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 2-FCV-1319 2A-RCP熱しゃへい冷却水流量制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
38	2-FCV-1320 2B-RCP熱しゃへい冷却水流量制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
39	2-FCV-1321 2C-RCP熱しゃへい冷却水流量制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
40	2-LCV-1200 2号補機冷却水サージタンク水位制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
41	2V-CC-1301 2A供給母管クーラ入口海水供給切替ライン第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
42	2V-CC-1302A 2A C/V再循環エット冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
43	2V-CC-1302B 2B C/V再循環エット冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
44	2V-CC-1305 2B余熱除去ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン接続用切替弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
45	2V-CC-1306 2B余熱除去ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
46	2V-CC-1307 2B制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水ライン接続用切替弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
47	2V-CC-1308 2B制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
48	2V-CC-1309 2Aスプレッドポンプ・モータ冷却水供給ライン切替用第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
49	2V-CC-1310 2Aスプレッドポンプ・モータ冷却水供給ライン切替用第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
50	2V-CC-1311 2Aスプレッドポンプ・モータ冷却水戻りライン切替用第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
51	2V-CC-1312 2Aスプレッドポンプ・モータ冷却水戻りライン切替用第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
52	2V-CC-1313 2B CH/SIポンプ 自己冷却水供給ライン第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
53	2V-CC-1314 2B CH/SIポンプ 自己冷却水供給ライン第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
54	2V-CC-1315 2C CH/SIポンプ 冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
55	2V-CC-1316 2Aスプレッドポンプ 自己冷却水供給ライン第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
56	2V-CC-1317 2Aスプレッドポンプ 自己冷却水戻りライン第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
57	2V-CC-016 2号補機冷却水補給水弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
58	2V-CC-017 2号補機冷却水補給水連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
59	2V-CC-021 2号補機冷却水サージタンクサージ弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
60	2V-CC-022 2号補機冷却水サージタンクサージ弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
61	2V-CC-043 2号補機冷却水戻りA・Cヘッド連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
62	2V-CC-044 2号補機冷却水戻りB・Cヘッド連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
63	2V-CC-060 2号補機冷却水供給A・Cヘッド連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
64	2V-CC-061 2号補機冷却水供給B・Cヘッド連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
65	2V-CC-172A 2Aビット冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
66	2V-CC-172B 2Bビット冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
67	2V-CC-179A 2Aビット冷却器冷却水第2出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
68	2V-CC-179B 2Bビット冷却器冷却水第2出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
69	2V-CC-179C 2Cビット冷却器冷却水第2出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
70	2V-CC-194A 2A-B-C/V再循環ユニット冷却水入口逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
71	2V-CC-204A 2A-C/V再循環ユニット冷却水流量制御弁後弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
72	2V-CC-204B 2B-C/V再循環ユニット冷却水流量制御弁後弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
73	2V-CC-221A 2A余熱除去冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
74	2V-CC-221B 2B余熱除去冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
75	2V-CC-234A 2A余熱除去ポンプ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
76	2V-CC-234B 2B余熱除去ポンプ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
77	2V-CC-239A 2A余熱除去ポンプモータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
78	2V-CC-239B 2B余熱除去ポンプモータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
79	2V-CC-251B 2Bスプレッドポンプ冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
80	2V-CC-255B 2Bスプレッドポンプモータ冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
81	2V-CC-286A 2A-B-CH/SIポンプモータ等冷却水第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
82	2V-CC-295A 2A-CH/SIポンプモータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
83	2V-CC-295B 2B-CH/SIポンプモータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
84	2V-CC-295C 2C-CH/SIポンプモータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
85	2V-CC-298A 2A-CH/SIポンプモータ等冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
86	2V-CC-298B 2B-CH/SIポンプモータ等冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
87	2V-CC-298C 2C-CH/SIポンプモータ等冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
88	2V-CC-301A 2A-B-CH/SIポンプモータ等冷却水出口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
89	2V-CC-326 2号AM用2A-RHRポンプモータCCW第2入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
90	2V-CC-327 2号AM用2A-RHRポンプモータCCWライン第1仕切弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
91	2V-CC-328 2号AM用2A-RHRポンプモータCCW第1出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
92	2V-CC-329 2号AM用2A-RHRポンプモータCCWライン第2仕切弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
93	2V-CC-350A Aポンプ冷却管冷却水供給第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
94	2V-CC-362A 2Aポンプ冷却管冷却水戻り第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
95	2V-CC-691A 2A-Ct冷却器冷却水入口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
96	2V-CC-691B 2A-Ct冷却器冷却水入口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
97	2V-CC-692A 2B-Ct冷却器冷却水入口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
98	2V-CC-692B 2B-Ct冷却器冷却水入口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
99	2V-CC-693A 2A-Ct冷却器冷却水出口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
100	2V-CC-693B 2A-Ct冷却器冷却水出口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
101	2V-CC-694A 2B-Ct ^o ット冷却器冷却水出口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
102	2V-CC-694B 2B-Ct ^o ット冷却器冷却水出口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
103	2V-SW-509A 2Aストレナ出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
104	2V-SW-509B 2Bストレナ出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
105	計測制御系統施設 (制御棒駆動装置) 2 A, 2 B MGセット用発電機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、普通点検(軸受点検)の点検頻度を「26M」から「39M」に、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
106	2 A, 2 B MGセット用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
107	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 2IAC-RV-1A 2 A 制御用空気除湿装置送風機出口逃がし弁	部品のみ確保が困難となる見込みのため、点検項目を「分解点検」から「取替」に見直す。	
108	2IAC-RV-1B 2 B 制御用空気除湿装置送風機出口逃がし弁	部品のみ確保が困難となる見込みのため、点検項目を「分解点検」から「取替」に見直す。	
109	計測制御系統施設 (その他設備) 1. パーミッシブロジック回路 5 回路 (原子炉保護系ロジック関連) 2. パーミッシブロジック回路 3 回路 (原子炉防護系ロジック関連)	原子炉安全保護盤取替に伴い、SN2-111「安全保護系機能検査(パーミッシブロジック検査)」をSN2-33「安全保護系機能検査」に統合する。	SN2-33 安全保護系機能検査
110	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2 A ガス圧縮装置封水循環ポンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
111	2 B ガス圧縮装置封水循環ポンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
112	2 A, 2 B 格納容器サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
113	2 A, 2 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
114	2 A, 2 B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
115	2 A, 2 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
116	2 A, 2 B 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
117	2 A, 2 B 燃料取扱建屋サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
118	A, B 廃棄物処理建屋サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
119	2 A, 2 B, 2 C 廃液給水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
120	2 A, 2 B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
121	2 A, 2 B 廃液蒸留水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
122	2号 補助建屋サンプタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
123	2号 補助建屋機器ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
124	2号 格納容器冷却材ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
125	2V-WL-060 2号 CVD Tベントライン第1隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
126	2V-WL-354 2号 C/Vサンプポンプ出口ライン第1隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
127	2 A, 2 B ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
128	2号 冷却材貯蔵タンク循環ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
129	2 A, 2 B モニタタンクポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
130	放射線管理施設 (換気設備) 2D-VS-063A 2 A 格納容器排気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
131	2D-VS-063B 2 B 格納容器排気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
132	2号 キャビティ給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
133	2号 キャビティ給気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
134	2号 キャビティ排気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
135	事故後サンプリングエリアよう素除去フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
136	2号 安全補機室給気ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
137	2F-VS-T408F 2号 安全補機室給気ユニット入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
138	2F-VS-T414F 2 A 安全補機室給気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
139	2F-VS-T423F 2 A 安全補機室給気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
140	2F-VS-T426F 2 B 安全補機室給気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
141	2F-VS-T435F 2 B 安全補機室給気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
142	2D-VS-532A 2 A 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
143	2D-VS-532B 2 B 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
144	2D-VS-533A 2 A 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
145	2D-VS-533B 2 B 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
146	2D-VS-534A 2 A 安全補機開閉器室空調ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
147	2D-VS-534B 2 B 安全補機開閉器室空調ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
148	2D-VS-535A 2 A 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
149	2D-VS-535B 2 B 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
150	2F-VS-P106F 2号 原子炉コントロールセンター室 (C) 出口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
151	2F-VS-P111F 2号 原子炉コントロールセンター室 (C) 入口給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
152	2F-VS-P151F 2 B 安全補機開閉器室入口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
153	2F-VS-P195F 2 B 安全補機開閉器室出口給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
154	2F-VS-P237F 2 A 安全補機開閉器室出口給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
155	2F-VS-P281F 2 A 安全補機開閉器室入口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
156	2F-VS-P8F 2 B インバータ室出口排気第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
157	2F-VS-P40F 2号CRDM開閉器室出口給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
158	2F-VS-P57F 2 A インバータ室入口給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
159	2F-VS-P69F 2号CRDM開閉器室入口給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
160	2F-VS-P76R-1 2 A インバータ室出口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
161	2D-VS-602A 2 A 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
162	2D-VS-602B 2 B 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
163	2D-VS-607A 2 A 中央制御室空調ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
164	2D-VS-607B 2 B 中央制御室空調ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
165	2D-VS-608A 2 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
166	2D-VS-608B 2 B 中央制御室空調ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
167	2D-VS-609A 2 A 中央制御室循環ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
168	2D-VS-609B 2 B 中央制御室循環ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
169	2D-VS-610A 2 A 中央制御室循環ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
170	2D-VS-610B 2 B 中央制御室循環ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
171	2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
172	2D-VS-603A 2 A 中央制御室外気取入事故時切換ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
173	2D-VS-603B 2 B 中央制御室外気取入事故時切換ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
174	2D-VS-604A 2 A 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
175	2D-VS-604B 2 B 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
176	2 A ディーゼル発電機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
177	2 B ディーゼル発電機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
178	2 C ディーゼル発電機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
179	2 D ディーゼル発電機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
180	2号 使用済燃料ピット排気フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
181	2C 補助給水ポンプ室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
182	2D 補助給水ポンプ室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
183	2D-VS-411C 2C 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
184	2D-VS-411D 2D 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
185	2D-VS-412C 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
186	2D-VS-412D 2D 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
187	2F-VS-Z142F 2D 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
188	2F-VS-Z149F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
189	2F-VS-Z151F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
190	2F-VS-Z161F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第3防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
191	2F-VS-IA176F 2A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
192	2F-VS-IA199F 2A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
193	2F-VS-1A153F 2 B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
194	原子炉格納施設（原子炉格納容器） T信号により隔離される弁 73個 P信号により隔離される弁 8個	第25保全サイクルより、P信号により隔離される弁の対象を79個から8個へ変更する。	SN2-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査
195	配管貫通部 31個	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
196	電線管貫通部 55個	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
197	原子炉格納容器隔離弁 87個	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
198	原子炉格納施設 （圧力低減設備その他の安全設備） 2V-CP-024A 2 A スプレイクーラ出口弁（外隔離弁）	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
199	2V-CP-024B 2 B スプレイクーラ出口弁（外隔離弁）	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
200	2V-SS-675A 2 A C/V雰囲気サンプル取出弁（内隔離弁）	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
201	2V-SS-675B 2 B C/V雰囲気サンプル取出弁（内隔離弁）	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
202	2V-VS-101A 2 A アニュラス出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
203	2V-VS-101B 2 B アニュラス出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
204	2V-VS-102A 2 A アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
205	2V-VS-102B 2 B アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
206	2V-VS-103A 2 A アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
207	2V-VS-103B 2 B アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
208	2-PCV-2334 2 A アニュラス戻り弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
209	2-PCV-2344 2 B アニュラス戻り弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
210	2 A 安全補機室排気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
211	2 A 安全補機室排気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
212	2 B 安全補機室排気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
213	2 B 安全補機室排気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
214	2号 安全補機室排気フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
215	N i 合金溶接部 1式	R/V出口管台インレイ工事完了に伴い、690系N i 合金溶接部となったため、維持規格に従い、25回定検より非破壊検査の頻度を「5C」から「7年間」へ変更する。	
216	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 2 A 復水ブースタポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
217	2 B 復水ブースタポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
218	2 C 復水ブースタポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
219	2 A 復水器真空ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
220	2 B 復水器真空ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
221	2 C 復水器真空ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
222	2V-FW-553A 2 A M/D AFWP出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
223	2V-FW-553B 2 B M/D AFWP出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
224	2V-FW-559A 2 A M/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
225	2V-FW-559B 2 B M/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
226	2V-FW-559C 2 C M/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
227	2V-FW-568A 2 A T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
228	2V-FW-568B 2 B T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
229	2V-FW-568C 2 C T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
230	2V-FW-573A 2 A 補助給水逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
231	2V-FW-573B 2 B 補助給水逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
232	2V-FW-573C 2 C 補助給水逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
233	2V-DW-108 2A電動補助給水ポンプ 復水吸込逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
234	2V-DW-111 2B電動補助給水ポンプ 復水吸込逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
235	2V-DW-115 2号タービン動補助給水ポンプ 復水吸込逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
236	2V-DW-130 2号タービン動補助給水ポンプ 油冷却器冷却水逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
237	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置) 2 C 充電器盤	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
238	火災防護設備 (その他設備) 2F-VS-Z79F 2 D 補助給水ポンプ 室給気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
239	2F-VS-Z86F 2 C 補助給水ポンプ 室給気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
240	2F-VS-Z99F 2 A 補助給水ポンプ 室排気ファン出口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
241	2F-VS-Z115F 2 B 補助給水ポンプ 室排気ファン出口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
242	2F-VS-Z130F 2 D 補助給水ポンプ 室排気ファン出口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
243	2F-VS-R321F 2号 補助建屋給気第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
244	2F-VS-R350F 2号 補助建屋給気第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
245	2F-VS-R201F 2号 補助建屋給気第3防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
246	2F-VS-R232F 2号 補助建屋給気第6防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
247	2F-VS-R157F 2号 補助建屋給気第4防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
248	2F-VS-R165F 2号 補助建屋給気第7防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
249	2F-VS-R55F 2号 補助建屋給気第5防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
250	2F-VS-R66F 2号 補助建屋給気第8防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
251	2F-VS-R129F 2 B 制御用空気圧縮機室給・排気ファン入口給気防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
252	2F-VS-Q153F 2 C 蓄電池室出口第2防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
253	2F-VS-Q157F 2 A 蓄電池室排気ファン入口防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
254	2F-VS-Q202F 2 B 蓄電池室排気ファン入口防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
255	2F-VS-P115F 2 B 安全補機開閉器室出口排気防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
256	2F-VS-P160F 2 B 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
257	2F-VS-P201F 2 A 安全補機開閉器室空調ファン防火ダクト	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
258	2F-VS-P245F 2 A 安全補機開閉器室出口排気防火ダンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
259	2F-VS-P29F 2 B インバクタ室入口給気防火ダンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
260	2F-VS-P371F 2 B LVP盤室出口排気防火ダンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
261	2F-VS-P375F 2 B LVP盤室入口給気防火ダンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
262	2F-VS-P379F 2 A LVP盤室入口給気防火ダンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
263	2F-VS-P384F 2 A LVP盤室出口排気防火ダンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
264	2F-VS-P1R-1 2 B インバクタ室出口排気第1防火ダンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
265	水素濃度検知器	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
266	浸水防護施設 (外郭浸水防護設備) (内郭浸水防護設備) 2号 原子炉補助建屋 堰 1箇所	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
267	浸水防護施設 (その他設備) 2V-SW-652 2号海水ポンプエリア排水ライン逆止弁	2号機設置設備の号機を明確化する。	
268	2V-SW-651A 2A海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	2号機設置設備の号機を明確化する。	
269	2V-SW-651B 2B海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	2号機設置設備の号機を明確化する。	
270	2V-SW-651C 2C海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	2号機設置設備の号機を明確化する。	
271	2V-SW-651D 2D海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	2号機設置設備の号機を明確化する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
重大事故等対処設備			
1	重大事故等対処設備 計測制御系統施設（計測装置） 重大事故等対処用入出力盤 1式	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
2	非常用電源設備 大容量空冷式発電機用 燃料タンク	タンクの外観点検に加え、タンク内面点検を追加するため、今回の点検計画に反映する。	
3	蓄電池（3系統目）	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-222 直流電源系機能検査 SN2-223 直流電源系作動検査
4	充電器盤 （3系統目）	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
5	計装用電源装置 （3系統目）	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-112 インバータ機能検査
6	計装用分電盤 （3系統目） （電源切替盤含む） 1式	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
特定重大事故等対処施設			
1		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	SN2-205 その他原子炉注水系機能検査
2		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	SN2-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
3		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
4		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	SN2-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
5		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
6		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	SN2-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
7		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
8		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	SN2-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
9		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
10		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
11		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
12		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-87 1次系逆止弁検査
13		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
14		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
15		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
16		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
17		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
18		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
19		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
20		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
21		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
22		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
23		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
24		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
25		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
26		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
27		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
28		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
29		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
30		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
31		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
32		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
33		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
34		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
35		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-86 1次系安全弁検査
36		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-86 1次系安全弁検査
37		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
38		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
39		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
40		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
41		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-73 計測制御系監視機能検査
42		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
43		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
44		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
45		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
46		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
47		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
48		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
49		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-208 プロセスモニタ機能検査
50		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-209 エリアモニタ機能検査
51		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	SN2-215 緊急時制御室の居住性確認検査
52		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	SN2-210 緊急時制御室給気系機能検査
53		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
54		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
55		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
56	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-212 緊急時制御室給気系フィルター性能検査	
57	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。		

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
58		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
59		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
60		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-86 1次系安全弁検査
61		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
62		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	SN2-48 原子炉格納容器安全系機能検査
63		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	SN2-217 圧力逃がし系作動検査
64		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
65		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
66		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
67		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
68	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-87 1次系逆止弁検査	
69	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。		

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
70		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
71		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
72		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
73		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
74		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
75		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
76		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
77		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
78		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
79		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
80		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
81		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
82		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
83		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
84		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
85		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
86		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-73 計測制御系監視機能検査
87		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-73 計測制御系監視機能検査
88		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
89		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
90		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-218 圧力逃がし系フィルター性能検査
91		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
92		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
93		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
94		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
95		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
96		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
97		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
98		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
99		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
100		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
101		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-85 1次系弁検査
102		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-88 1次系真空破壊弁検査
103		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-88 1次系真空破壊弁検査
104		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-200 重大事故等クラス1機器供用期間中検査
105		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
106		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
107		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-220 その他非常用発電装置の分解検査 SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査
108		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
109		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
110		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
111		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
112		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
113		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
114		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-220 その他非常用発電装置の分解検査 SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査
115		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
116		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
117		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
118		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
119		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
120		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
121		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
122		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
123		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
124		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
125		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
126		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
127		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
128		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
129		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-220 その他非常用発電装置の分解検査 SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査
130		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-220 その他非常用発電装置の分解検査 SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査
131		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
132		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
133		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
134		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
135		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
136		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
137		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
138		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
139		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
140		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
141		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
142		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
143		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
144		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
145		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
146		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
147		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
148		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
149		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
150	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。		

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
151		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
152		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
153		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
154		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-112 インバータ機能検査
155		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
156		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
157		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN2-222 直流電源系機能検査 SN2-223 直流電源系作動検査
158		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
159		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
160		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
161		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
162		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
163		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
164		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
165		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
166		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
167		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
168		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
169		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
170		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
171		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
172		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
173		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
174		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
175		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
176		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
177		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
178		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
179		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
180		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
181		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
182		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
183		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
184		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
185		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
186		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
187		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
188		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
189		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
190		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	

保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

※インプット情報の項目は、添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応 但し、「a～f」以外の保全の有効性評価に必要と判断される情報については、「その他」とする

※※点検頻度の変更に適用した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	
1	化学体積制御系統	MPFF回数	< 2回/ サイクル	< 1回/ サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
2	安全注入系統	MPFF回数	< 2回/ サイクル	< 1回/ サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
3	余熱除去系統	MPFF回数	< 2回/ サイクル	< 1回/ サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
4	原子炉補機冷却水系統	MPFF回数	< 2回/ サイクル	< 1回/ サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	事故時のプラント状態の把握機能（直接関連系）、事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
5	所内電源系統 (M/C、P/C)	MPFF回数	< 2回/ サイクル	< 1回/ サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
6	直流電源系統	MPFF回数	< 2回/ サイクル	< 1回/ サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
7	原子炉保護制御装置	MPFF回数	< 2回/ サイクル	< 1回/ サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
8	重大事故等対処設備	MPFF回数	< 1回/ サイクル	< 2回/ サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	原子炉格納容器スプレイをするための設備（SA-2）と重大事故等の収束に必要な水の供給設備（SA-2）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「低」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を< 1回/サイクルから< 2回/サイクルへ変更する。	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプ ット 情報の項 目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備) 2A使用済燃料ピット冷却器	保全重要度	低	高	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。	—	
2	2B使用済燃料ピット冷却器	保全重要度	低	高	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。	—	
3	2C使用済燃料ピット冷却器	保全重要度	低	高	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。	—	
4	原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備) 2A 1次冷却材ポンプ用電動機	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検及び非破壊試験の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
5	2B 1次冷却材ポンプ用電動機	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検及び非破壊試験の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
6	2C 1次冷却材ポンプ用電動機	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検及び非破壊試験の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
7	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 2-PCV-3610 2A 主蒸気逃がし弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
8	2-PCV-3620 2B 主蒸気逃がし弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
9	2-PCV-3630 2C 主蒸気逃がし弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
10	2V-MS-620A 2A T/D AFWP 蒸気入口弁	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
11	2V-MS-620B 2B T/D AFWP 蒸気入口弁	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
12	2V-MS-575A 2号 T/D AFWP A蒸気元弁	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
13	2V-MS-575B 2号 T/D AFWP B蒸気元弁	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプ ット 情報 の項 目※	評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
14	原子炉冷却系 統施設 (余熱除却設 備) 2V-RH-021A 2A RHR S -CH/SI ポンプ連絡弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
15	2V-RH-021B 2B RHR S -CH/SI ポンプ連絡弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
16	2V-RH-003A 2A RHR S 入口弁 (内隔 離弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
17	2V-RH-003B 2B RHR S 入口弁 (内隔 離弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
18	2V-RH-024A 2A RHR クレー出口連 絡弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
19	2V-RH-024B 2B RHR クレー出口連 絡弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
20	2-FCV-601 2A RHR ポンプミニマム フロー弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
21	2-FCV-611 2B RHR ポンプミニマム フロー弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
22	原子炉冷却系 統施設 (非常用炉心 冷却設備その 他原子炉注水 設備) 2号 蓄圧タン ク充てんポン プ用電動機	保全方式又 は頻度	78M	91M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻 度を「78M」から「91M」に変更する	①	
23	2V-SI-193A 2A RHR S C/V再循環 弁 (外隔離 弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
24	2V-SI-193B 2B RHR S C/V再循環 弁 (外隔離 弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
25	2V-SI-132A 2A 蓄圧タン ク出口弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	
26	2V-SI-132B 2B 蓄圧タン ク出口弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の 点検頻度を「130M」から「143M」に変更 する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目※	評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
27	2V-S1-132C 2 C 蓄圧タンク 出口弁	保全方式又は 頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
28	原子炉冷却系 統施設 (化学体積制 御設備) 2-FCV-138 2号充てん流 量調節弁	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
29	2-FCV-140 2号封水注入 流量調節弁	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
30	2-HCV-190 2号余剰抽出 流量制御弁	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
31	2-LCV-121B 2号体積制御 タンク第1出 口弁	保全方式又は 頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
32	2-LCV-121C 2号体積制御 タンク第2出 口弁	保全方式又は 頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
33	2V-CS-290A 2 A R C P N o . 1 シー ル出口弁	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
34	2V-CS-290B 2 B R C P N o . 1 シー ル出口弁	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
35	2V-CS-290C 2 C R C P N o . 1 シー ル出口弁	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
36	2V-CS-300 2 R C P N o . 1 シー ルバイパス弁	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
37	原子炉冷却系 統施設 (原子炉補機 冷却水設備)	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価 (PRA) によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は 頻度	—	130M					
	2-FCV-1319 2A-RCP熱しゃ へい冷却水流 量制御弁	点検及び試 験の項目	—	駆動部点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価 (PRA) によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
保全重要度	—	高							
保全方式又は 頻度	—	130M							
38	2-FCV-1320 2B-RCP熱しゃ へい冷却水流 量制御弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価 (PRA) によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は 頻度	—	130M					
	点検及び試 験の項目	—	駆動部点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価 (PRA) によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—		
保全重要度	—	高							
保全方式又は 頻度	—	130M							

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	備考 (関連する定期事業者検査等)			
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更										
		項目	変更前	変更後								
39	2-FCV-1321 2C-RCP熱しゃへい冷却水流 量制御弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		保全方式又は頻度	—	130M								
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
										保全重要度	—	高
										保全方式又は頻度	—	130M
40	2-LCV-1200 2号補機冷却水 チージック水位制 御弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		保全方式又は頻度	—	130M								
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
										保全重要度	—	高
										保全方式又は頻度	—	130M
41	2V-CC-1301 2A供給母管ケー ブ入口海水供給 切替ライク第2止 め弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		保全方式又は頻度	—	130M								
42	2V-CC-1302A 2A C/V再循環 モット冷却水戻 りライク海水排水 ライク止め弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		保全方式又は頻度	—	130M								
43	2V-CC-1302B 2B C/V再循環 モット冷却水戻 りライク海水排水 ライク止め弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		保全方式又は頻度	—	130M								
44	2V-CC-1305 2B余熱除去ポン プ・モータ冷却水 戻りライク海水排 水ライク接続用切 替弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		保全方式又は頻度	—	130M								
45	2V-CC-1306 2B余熱除去ポン プ・モータ冷却水 戻りライク海水排 水ライク止め弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		保全方式又は頻度	—	130M								
46	2V-CC-1307 2B制御用空気 圧縮装置冷却水 戻りライク海水排 水ライク接続用切 替弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		保全方式又は頻度	—	130M								
47	2V-CC-1308 2B制御用空気 圧縮装置冷却水 戻りライク海水排 水ライク止め弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によつて、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		保全方式又は頻度	—	130M								

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプ ット 情報 の項 目※	事象の概要	評価 評価内容	4つの 評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
48	2V-CC-1309 2Aスプレッド 7・モータ冷却水 供給7台切替用 第2止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
49	2V-CC-1310 2Aスプレッド 7・モータ冷却水 供給7台切替用 第1止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
50	2V-CC-1311 2Aスプレッド 7・モータ冷却水 戻り7台切替用 第2止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
51	2V-CC-1312 2Aスプレッド 7・モータ冷却水 戻り7台切替用 第1止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
52	2V-CC-1313 2B CH/SIポン プ自己冷却水供 給7台第2止め 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
53	2V-CC-1314 2B CH/SIポン プ自己冷却水供 給7台第1止め 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
54	2V-CC-1315 2C CH/SIポン プ冷却水戻り7 海水排水7台止 め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
55	2V-CC-1316 2Aスプレッド 自己冷却水供 給7台第2止め 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
56	2V-CC-1317 2Aスプレッド 自己冷却水戻 り7台第1止め 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
57	2V-CC-016 2号補機冷却水 補給水弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
58	2V-CC-017 2号補機冷却水 補給水連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
59	2V-CC-021 2号補機冷却水 ポンプ7台ポン プ弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
60	2V-CC-022 2号補機冷却水 ポンプ7台ポン プ弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプ ット 情報の項 目※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
61	2V-CC-043 2号補機冷却水 戻りA・Cへッダ ² 連 絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
62	2V-CC-044 2号補機冷却水 戻りB・Cへッダ ² 連 絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
63	2V-CC-060 2号補機冷却水 供給A・Cへッダ ² 連 絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
64	2V-CC-061 2号補機冷却水 供給B・Cへッダ ² 連 絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
65	2V-CC-172A 2A ² ット冷却器 冷却水入口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
66	2V-CC-172B 2B ² ット冷却器 冷却水入口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
67	2V-CC-179A 2A ² ット冷却器 冷却水第2出口 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
68	2V-CC-179B 2B ² ット冷却器 冷却水第2出口 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
69	2V-CC-179C 2C ² ット冷却器 冷却水第2出口 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
70	2V-CC-194A 2A-B-C/V再循環 ネット冷却水 入口逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
71	2V-CC-204A 2A-C/V再循環 ネット冷却水流量 制御弁後弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
72	2V-CC-204B 2B-C/V再循環 ネット冷却水流量 制御弁後弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
73	2V-CC-221A 2A余熱除去冷 却器冷却水入 口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
74	2V-CC-221B 2B余熱除去冷 却器冷却水入 口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプ ット 情報の項 目※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
75	2V-CC-234A 2A余熱除去ポン プ冷却水出口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
76	2V-CC-234B 2B余熱除去ポン プ冷却水出口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
77	2V-CC-239A 2A余熱除去ポン プモータ冷却水出 口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
78	2V-CC-239B 2B余熱除去ポン プモータ冷却水出 口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
79	2V-CC-251B 2Bスプレッド ポンプ冷却水入口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
80	2V-CC-255B 2Bスプレッド ポンプモータ冷却水入 口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
81	2V-CC-286A 2A-B-CH/SIポン プモータ等冷却水 第2連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
82	2V-CC-295A 2A-CH/SIポン プモータ冷却水出口 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
83	2V-CC-295B 2B-CH/SIポン プモータ冷却水出口 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
84	2V-CC-295C 2C-CH/SIポン プモータ冷却水出口 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
85	2V-CC-298A 2A-CH/SIポン プモータ等冷却水出 口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
86	2V-CC-298B 2B-CH/SIポン プモータ等冷却水出 口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
87	2V-CC-298C 2C-CH/SIポン プモータ等冷却水出 口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプ ット 情報の項 目※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
88	2V-CC-301A 2A-B-CH/SIボ ンプモータ等冷却水 出口第1連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
89	2V-CC-326 2号AM用2A-RHR ボンプモータCCW第 2入口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
90	2V-CC-327 2号AM用2A-RHR ボンプモータCCW7イ ン第1仕切弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
91	2V-CC-328 2号AM用2A-RHR ボンプモータCCW第 1出口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
92	2V-CC-329 2号AM用2A-RHR ボンプモータCCW7イ ン第2仕切弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
93	2V-CC-350A Aボンプ冷却管 冷却水戻り第1 連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
94	2V-CC-362A 2Aボンプ冷却管 冷却水戻り第1 連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
95	2V-CC-691A 2A-CE'ット冷却 器冷却水入口 第1連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
96	2V-CC-691B 2A-CE'ット冷却 器冷却水入口 第2連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
97	2V-CC-692A 2B-CE'ット冷却 器冷却水入口 第1連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
98	2V-CC-692B 2B-CE'ット冷却 器冷却水入口 第2連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
99	2V-CC-693A 2A-CE'ット冷却 器冷却水出口 第1連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
100	2V-CC-693B 2A-CE'ット冷却 器冷却水出口 第2連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプ ット 情報 の項 目※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
101	2V-CC-694A 2B-CC ¹ ット冷却器 冷却水出口 第1連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
102	2V-CC-694B 2B-CC ¹ ット冷却器 冷却水出口 第2連絡弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
103	2V-SW-509A 2Aストレー出口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
104	2V-SW-509B 2Bストレー出口弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
105	計測制御系統 施設 (制御棒駆動 装置) 2 A, 2 B M Gセット用発 電機	保全方式又 は頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及 び過去にトラブルがなかったこと等を総 合的に評価した結果、普通点検（軸受点 検）の点検頻度を「26M」から「39M」に 変更する。	①	
		保全方式又 は頻度	52M	65M					「その他」
106	2 A, 2 B M Gセット用電 動機	保全方式又 は頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及 び過去にトラブルがなかったこと等を総 合的に評価した結果、分解点検の点検頻 度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
107	計測制御系統 施設 (制御用空気 設備) 2IAC-RV-1A 2 A 制御用空 気除湿装置送 風機出口逃が し弁	点検及び試 験の項目	分解点検	取替	「その他」	左記機器の点検項目の見直しを検討し た。	部品のみの確保が困難となる見込みのた め、点検項目を「分解点検」から「取 替」に見直す。	—	
108	2IAC-RV-1B 2 B 制御用空 気除湿装置送 風機出口逃が し弁	点検及び試 験の項目	分解点検	取替	「その他」	左記機器の点検項目の見直しを検討し た。	部品のみの確保が困難となる見込みのた め、点検項目を「分解点検」から「取 替」に見直す。	—	
109	計測制御系統 施設 (その他設備) 1. パーミッ シブロジック 回路 5 回路 (原子炉保護 系ロジック関 連) 2. パーミッ シブロジック 回路 3 回路 (原子炉防護 系ロジック関 連)	検査名	SN2-111 安全保護 系機能検 査(パー ミシブロ ジック検 査)	SN2-33 安全保護系 機能検査	「その他」	原子炉安全保護盤取替に伴う、点検計画 の見直しを検討した。	原子炉安全保護盤取替に伴い、SN2-111 「安全保護系機能検査(パーミシブロジ ック検査)」をSN2-33「安全保護系機能 検査」に統合する。	—	SN2-33 安全保護系機能検査
110	放射性廃棄物 の廃棄施設 (気体、液体 又は固体廃棄 物処理設備) 2 A ガス圧縮 装置封水循環 ポンプ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総 合的に評価した結果、分解点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
111	2 B ガス圧縮 装置封水循環 ポンプ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総 合的に評価した結果、分解点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価	4つの 評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
112	2A, 2B 格納容器サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	3C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
113	2A, 2B 補助建屋サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	4C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
114	2A, 2B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	機能・性能試験	4C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
115	2A, 2B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	機能・性能試験	4C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
116	2A, 2B 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機	機能・性能試験	4C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
117	2A, 2B 燃料取扱建屋サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
118	A, B 廃棄物処理建屋サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	10F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
119	2A, 2B, 2C 廃液給水ポンプ用電動機	機能・性能試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
120	2A, 2B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ用電動機	機能・性能試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
121	2A, 2B 廃液蒸留水ポンプ用電動機	機能・性能試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
122	2号 補助建屋サンプタンク	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
123	2号 補助建屋機器ドレンタンク	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
124	2号 格納容器冷却材ドレンタンク	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
125	2V-WL-060 2号 CVD T ベントライン 第1 隔離弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
126	2V-WL-354 2号 C/Vサ ンプポンプ出 口ライン第1 隔離弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
127	2A, 2B ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	機能・性能試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
128	2号 冷却材貯蔵タンク循環ポンプ用電動機	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
129	2A, 2B モニタタンクポンプ用電動機	機能・性能試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目※	事象の概要	評価	4つの評価項目※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
130	放射線管理施設 (換気設備) 2D-VS-063A 2 A 格納容器 排気ファン出口ダンパ	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
131	2D-VS-063B 2 B 格納容器 排気ファン出口ダンパ	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
132	2号 キャビティ給気ファン	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
133	2号 キャビティ給気ファン用電動機	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
134	2号 キャビティ排気ファン	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
135	事故後サンプリングエリア よう素除去 フィルタユニット	保全方式又は頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
136	2号 安全補機室給気ユニット	保全方式又は頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
137	2F-VS-T408F 2号 安全補機室給気ユニット 入口防火ダンパ	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
138	2F-VS-T414F 2 A 安全補機室給気ファン 入口防火ダンパ	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
139	2F-VS-T423F 2 A 安全補機室給気ファン 出口防火ダンパ	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
140	2F-VS-T426F 2 B 安全補機室給気ファン 入口防火ダンパ	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
141	2F-VS-T435F 2 B 安全補機室給気ファン 出口防火ダンパ	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
142	2D-VS-532A 2 A 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
143	2D-VS-532B 2 B 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
144	2D-VS-533A 2 A 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンパ	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
145	2D-VS-533B 2 B 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンパ	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
146	2D-VS-534A 2 A 安全補機 開閉器室空調 ファン出口ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
147	2D-VS-534B 2 B 安全補機 開閉器室空調 ファン出口ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
148	2D-VS-535A 2 A 安全補機 開閉器室連絡 ダクト隔離ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
149	2D-VS-535B 2 B 安全補機 開閉器室連絡 ダクト隔離ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
150	2F-VS-P106F 2号 原子炉コ ントロールセン ター室 (C) 出口排 気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
151	2F-VS-P111F 2号 原子炉コ ントロールセン ター室 (C) 入口給 気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
152	2F-VS-P151F 2 B 安全補機 開閉器室入口 排気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
153	2F-VS-P195F 2 B 安全補機 開閉器室出口 給気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
154	2F-VS-P237F 2 A 安全補機 開閉器室出口 給気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
155	2F-VS-P281F 2 A 安全補機 開閉器室入口 排気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
156	2F-VS-P8F 2 B インバー タ室出口排気 第2防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
157	2F-VS-P40F 2号 C R D M 開閉器室出口 給気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
158	2F-VS-P57F 2 A インバー タ室入口給気 防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
159	2F-VS-P69F 2号 C R D M 開閉器室入口 給気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
160	2F-VS-P76R-1 2 A インバー タ室出口排気 防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻 度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
161	2D-VS-602A 2 A 中央制御 室外気取入事 故時循環ダン パ	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプ ット 情報の項 目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
162	2D-VS-602B 2 B 中央制御 室外気取入事 故時循環ダン バ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
163	2D-VS-607A 2 A 中央制御 室空調ファン 入口ダンバ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
164	2D-VS-607B 2 B 中央制御 室空調ファン 入口ダンバ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
165	2D-VS-608A 2 A 中央制御 室空調ファン 出口ダンバ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
166	2D-VS-608B 2 B 中央制御 室空調ファン 出口ダンバ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
167	2D-VS-609A 2 A 中央制御 室循環ファン 入口ダンバ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
168	2D-VS-609B 2 B 中央制御 室循環ファン 入口ダンバ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
169	2D-VS-610A 2 A 中央制御 室循環ファン 出口ダンバ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
170	2D-VS-610B 2 B 中央制御 室循環ファン 出口ダンバ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
171	2号 中央制御 室非常用循環 フィルタユ ニット	保全方式又 は頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻 度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
172	2D-VS-603A 2 A 中央制御 室外気取入事 故時切換ダン バ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
173	2D-VS-603B 2 B 中央制御 室外気取入事 故時切換ダン バ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
174	2D-VS-604A 2 A 中央制御 室外気取入事 故時循環ダン バ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
175	2D-VS-604B 2 B 中央制御 室外気取入事 故時循環ダン バ	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
176	2 A ディーゼル 発電機室給 気ファン	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
177	2 B ディーゼル 発電機室給 気ファン	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
178	2 C ディーゼル 発電機室給 気ファン	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
179	2D ディーゼル発電機室給気ファン	保全方式又は頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
180	2号 使用済燃料ピット排気フィルタユニット	保全方式又は頻度は	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
181	2C 補助給水ポンプ室給気ファン	保全方式又は頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
182	2D 補助給水ポンプ室給気ファン	保全方式又は頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
183	2D-VS-411C 2C 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンパ	保全方式又は頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
184	2D-VS-411D 2D 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンパ	保全方式又は頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
185	2D-VS-412C 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンパ	保全方式又は頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
186	2D-VS-412D 2D 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンパ	保全方式又は頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
187	2F-VS-Z142F 2D 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
188	2F-VS-Z149F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第1防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
189	2F-VS-Z151F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
190	2F-VS-Z161F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第3防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
191	2F-VS-1A176F 2A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
192	2F-VS-1A199F 2A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口第2防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
193	2F-VS-1A153F 2B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目※	評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	
		項目	変更前	変更後					
194	原子炉格納施設(原子炉格納容器) T信号により隔離される弁73個 P信号により隔離される弁8個	実施数 (機器名)	79個	8個	「その他」	原子炉安全保護盤更新に伴う検査内容の見直しにより、P信号により隔離される弁のうち、T信号により隔離される弁は対象外となったため、P信号により隔離される弁の個数を変更する。	第25保全サイクルより、P信号により隔離される弁の対象を79個から8個へ変更する。	—	SN2-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査
195	配管貫通部 31個	実施数	30個	31個	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
196	電線管貫通部 55個	実施数	53個	55個	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
197	原子炉格納容器隔離弁 87個	実施数	79個	87個	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
198	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) 2V-CP-024A 2A スプレイクーラ出口弁 (外隔離弁)	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
199	2V-CP-024B 2B スプレイクーラ出口弁 (外隔離弁)	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
200	2V-SS-675A 2A C/V雰閉気サンプル取出弁(内隔離弁)	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
201	2V-SS-675B 2B C/V雰閉気サンプル取出弁(内隔離弁)	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
202	2V-VS-101A 2A アンユラス出口弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
203	2V-VS-101B 2B アンユラス出口弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
204	2V-VS-102A 2A アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
205	2V-VS-102B 2B アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
206	2V-VS-103A 2A アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
207	2V-VS-103B 2B アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口弁	保全方式又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプ ット 情報の項 目※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
208	2-PCV-2334 2 A アニュラ ス戻り弁	保全方式又は 頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「26M」から「39M」に変更する。	①	
209	2-PCV-2344 2 B アニュラ ス戻り弁	保全方式又は 頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「26M」から「39M」に変更する。	①	
210	2 A 安全補機 室排気ファン	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更する。	①	
211	2 A 安全補機 室排気ファン 用電動機	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更する。	①	
212	2 B 安全補機 室排気ファン	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更する。	①	
213	2 B 安全補機 室排気ファン 用電動機	保全方式又は 頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更する。	①	
214	2号 安全補機 室排気フィル タユニット	保全方式又は 頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「26M」から「39M」に変更する。	①	
215	N i 基合金溶 接部 1式	保全方式又は 頻度	5 C	7年間	「その他」	R/V出口管台インレイ工事完了に伴い、 690系N i 基合金溶接部となったため、 維持規格に従い、非破壊検査頻度の 変更を検討した。	R/V出口管台インレイ工事完了に伴い、 690系N i 基合金溶接部となったため、 維持規格に従い、25回定検より非 破壊検査の頻度を「5C」から「7年 間」へ変更する。	①	
216	蒸気タービン (蒸気タービ ンに附属する 給水ポンプ及 び貯水設備並 びに給水処理 設備) 2 A 復水プー スタポンプ用 電動機	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
217	2 B 復水プー スタポンプ用 電動機	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
218	2 C 復水プー スタポンプ用 電動機	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
219	2 A 復水器真 空ポンプ用電 動機	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
220	2 B 復水器真 空ポンプ用電 動機	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
221	2 C 復水器真 空ポンプ用電 動機	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
222	2V-FW-553A 2 A M/D A FWP 出口 逆止弁	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
223	2V-FW-553B 2 B M/D A FWP 出口 逆止弁	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプ ット 情報の項 目※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
224	2V-FW-559A 2 A M/D A FWP 出口 流量制御弁出 口逆止弁	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
225	2V-FW-559B 2 B M/D A FWP 出口 流量制御弁出 口逆止弁	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
226	2V-FW-559C 2 C M/D A FWP 出口 流量制御弁出 口逆止弁	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
227	2V-FW-568A 2 A T/D A FWP 出口 流量制御弁出 口逆止弁	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
228	2V-FW-568B 2 B T/D A FWP 出口 流量制御弁出 口逆止弁	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
229	2V-FW-568C 2 C T/D A FWP 出口 流量制御弁出 口逆止弁	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
230	2V-FW-573A 2 A 補助給水 逆止弁	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
231	2V-FW-573B 2 B 補助給水 逆止弁	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
232	2V-FW-573C 2 C 補助給水 逆止弁	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
233	2V-DW-108 2A電動補助給 水ポンプ復水吸 込逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
234	2V-DW-111 2B電動補助給 水ポンプ復水吸 込逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
235	2V-DW-115 2号タービン動 補助給水ポンプ復 水吸込逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
236	2V-DW-130 2号タービン動 補助給水ポンプ油 冷却器冷却水 逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
237	その他発電用 原子炉の附属 施設 (非常用電源 設備) (その他の電 源装置) 2 C 充電器 盤	点検及び試 験の項目	—	普通点検	「リスク情 報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によっ て、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器につい て、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	26M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプ ト 情報 の 項 目 ※	事象の概要	評価 評価内容	4つの 評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
238	火災防護設備 (その他設備) 2F-VS-Z79F 2 D 補助給 水ポンプ室給気 ファン入口防火ダ ンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
239	2F-VS-Z86F 2 C 補助給 水ポンプ室給気 ファン入口防火ダ ンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
240	2F-VS-Z99F 2 A 補助給 水ポンプ室排気 ファン出口第1防 火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
241	2F-VS-Z115F 2 B 補助給 水ポンプ室排気 ファン出口第1防 火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
242	2F-VS-Z130F 2 D 補助給 水ポンプ室排気 ファン出口第1防 火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
243	2F-VS-R321F 2号 補助建 屋給気第1防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
244	2F-VS-R350F 2号 補助建 屋給気第2防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
245	2F-VS-R201F 2号 補助建 屋給気第3防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
246	2F-VS-R232F 2号 補助建 屋給気第6防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
247	2F-VS-R157F 2号 補助建 屋給気第4防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
248	2F-VS-R165F 2号 補助建 屋給気第7防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
249	2F-VS-R55F 2号 補助建 屋給気第5防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
250	2F-VS-R66F 2号 補助建 屋給気第8防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
251	2F-VS-R129F 2 B 制御用 空気圧縮機室 給・排気ファン入 口給気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
252	2F-VS-Q153F 2 C 蓄電池 室出口第2防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
253	2F-VS-Q157F 2 A 蓄電池 室排気ファン入口 防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
254	2F-VS-Q202F 2 B 蓄電池 室排気ファン入口 防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
255	2F-VS-P115F 2 B 安全補 機開閉器室出 口排気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
256	2F-VS-P160F 2 B 安全補 機開閉器室空 調ファン出口防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
257	2F-VS-P201F 2 A 安全補 機開閉器室空 調ファン防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
258	2F-VS-P245F 2 A 安全補 機開閉器室出 口排気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
259	2F-VS-P29F 2 B インパ-タ 室入口給気防 火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
260	2F-VS-P371F 2 B LVP盤室 出口排気防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
261	2F-VS-P375F 2 B LVP盤室 入口給気防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
262	2F-VS-P379F 2 A LVP盤室 入口給気防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
263	2F-VS-P384F 2 A LVP盤室 出口排気防火 ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
264	2F-VS-P11R-1 2 B インパ-タ 室出口排気第1 防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能点検の点検頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
265	水素濃度検知 器	点検及び試 験の項目	—	装置点検	「その他」	常設直流電源設備（3系統目）設置工事 に伴う、点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備（3系統目）設置工事 に伴い設置した左記機器について、今後 の健全性確保及び機能維持を図るため、 今回の点検計画に反映する。	—	
	保全重要度	—	低						
	保全方式又は 頻度	—	1F						
266	浸水防護施設 （外郭浸水防 護設備） （内郭浸水防 護設備） 2号 原子炉 補助建屋 堰 1箇所	点検及び試 験項目	—	外観点検	「その他」	常設直流電源設備（3系統目）設置工事 に伴い、点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備（3系統目）設置工事 に伴い設置した左記設備について、今後 の健全性確保を図るため、今回の点検計 画に反映する。	—	
	保全重要度	—	低						
	保全方式又は 頻度	—	1F						

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプ ット 情報の項 目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
267	浸水防護施設 (その他設 備) 2V-SW-652 2号海水ポンプ エリア排水ラ イン逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエ リア)(1, 2号機共用)10台」の保全 計画の最適化として対象設備の号機を明 確化した。	2号機設置設備の号機を明確化する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又 は頻度	—	104M					
268	2V-SW-651A 2A海水ポンプ モータ冷却水 ドレンライン 逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエ リア)(1, 2号機共用)10台」の保全 計画の最適化として対象設備の号機を明 確化した。	2号機設置設備の号機を明確化する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又 は頻度	—	104M					
269	2V-SW-651B 2B海水ポンプ モータ冷却水 ドレンライン 逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエ リア)(1, 2号機共用)10台」の保全 計画の最適化として対象設備の号機を明 確化した。	2号機設置設備の号機を明確化する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又 は頻度	—	104M					
270	2V-SW-651C 2C海水ポンプ モータ冷却水 ドレンライン 逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエ リア)(1, 2号機共用)10台」の保全 計画の最適化として対象設備の号機を明 確化した。	2号機設置設備の号機を明確化する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又 は頻度	—	104M					
271	2V-SW-651D 2D海水ポンプ モータ冷却水 ドレンライン 逆止弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエ リア)(1, 2号機共用)10台」の保全 計画の最適化として対象設備の号機を明 確化した。	2号機設置設備の号機を明確化する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又 は頻度	—	104M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目※	評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	
		項目	変更前	変更後					
272	重大事故等対処設備 計測制御系統施設(計測装置) 重大事故等対処用入出力盤1式	実施数(機器名)	重大事故等対処用入出力盤	重大事故等対処用入出力盤1式	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴う、点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
273	非常用電源設備 大容量空冷式発電機用燃料タンク	点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	タンクの外観点検に加え、タンク内面点検を追加するため、点検項目を見直した。	タンクの外観点検に加え、タンク内面点検を追加するため、今回の点検計画に反映する。	—	
	保全方式又は頻度	—	130M						
274	蓄電池(3系統目)	点検及び試験の項目	—	普通点検 機能・性能試験	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴う、点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-222 直流電源系機能検査 SN2-223 直流電源系作動検査
	保全重要度	—	高						
	保全方式又は頻度	—	13M 1C						
275	充電器盤(3系統目)	点検及び試験の項目	—	普通点検	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴う、点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
	保全重要度	—	高						
	保全方式又は頻度	—	13M						
276	計装用電源装置(3系統目)	点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴う、点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-112 インバータ機能検査
	保全重要度	—	高						
	保全方式又は頻度	—	1C						
277	計装用分電盤(3系統目) (電源切替盤含む) 1式	点検及び試験の項目	—	簡易点検	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴う、点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
	保全重要度	—	高						
	保全方式又は頻度	—	1C						

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
278		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-205 その他原子炉注水系機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
279		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	SN2-49 原子炉格納容器安全系 ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M 130M					
280		点検及び試験の項目	—	簡易点検 普通点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 39M 78M					
281		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	SN2-49 原子炉格納容器安全系 ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M 130M					
282		点検及び試験の項目	—	簡易点検 普通点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 39M 78M					
283		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	SN2-49 原子炉格納容器安全系 ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M 130M					
284		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	65M					
285		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	SN2-49 原子炉格納容器安全系 ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M 130M					
286		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	65M					
287		点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目 ※	評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
288		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 130M					
289		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
290		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
291		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
292		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
293		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
294		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
295		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
296		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
297		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
298		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
299		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
300		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
301		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
302		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
303		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
304		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
305		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
306		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
307		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
308		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
309		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-35 プラント状態監視設備 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目 ※	評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
310		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	1C					
311		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	1C					
312		点検及び試験の項目	—	分解点検 漏えい試験 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-86 1次系安全弁検査
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度は	—	130M 10C 10C					
313		点検及び試験の項目	—	分解点検 漏えい試験 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-86 1次系安全弁検査
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度は	—	130M 10C 10C					
314		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 130M					
315		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 130M					
316		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 130M					
317		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目 ※	評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
318		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-73 計測制御系監視機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
319		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
320		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
321		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
322		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
323		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
324		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
325		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
326		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-208 プロセスモニタ機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
327		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-209 エリアモニタ機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
328		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-215 緊急時制御室の居住性確認検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
329		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-210 緊急時制御室給気系機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
330		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
331		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	78M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目※	評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	
		項目	変更前	変更後					
332		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」 特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	78M					
333		点検及び試験の項目	—	開放点検機能・性能試験	「その他」 特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-212 緊急時制御室給気系 フィルター性能検査	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	26M 1C					
334		点検及び試験の項目	—	一般点検(絶縁抵抗測定他)	「その他」 特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
335		点検及び試験の項目	—	一般点検(絶縁抵抗測定他)	「その他」 特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
336		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」 特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
337		点検及び試験の項目	—	分解点検漏えい試験機能・性能試験	「その他」 特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-86 1次系安全弁検査	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	130M 10C 10C					
338		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」 特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
339		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」 特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-48 原子炉格納容器安全系 機能検査	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
340		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」 特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-217 圧力逃がし系作動検査	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目※	評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
341		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機簡易 点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 2C 130M					
342		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機簡易 点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 2C 130M					
343		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機簡易 点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 2C 130M					
344		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機簡易 点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 2C 130M					
345		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M					
346		点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M					
347		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	1C 3C					
348		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	1C 3C					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
349		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
350		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
351		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
352		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
353		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
354		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
355		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
356		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
357		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
358		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
359		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
360		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
361		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
362		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-51 原子炉格納容器水素再 結合装置機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
363		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-73 計測制御系監視機能検査
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	13M					
364		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-73 計測制御系監視機能検査
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	13M					
365		点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
366		点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
367		点検及び試験の項目	—	開放点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-218 圧力逃がし系フィル ター性能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	65M 5C					
368		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M 130M					
369		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	65M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
370		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
371		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
372		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
373		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
374		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
375		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
376		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
377		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 130M					
378		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	130M 130M 10C 130M					
379		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-88 1次系真空破壊弁検査
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度は	—	130M					
380		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-88 1次系真空破壊弁検査
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度は	—	130M					
381		点検及び試験の項目	—	非破壊試験 漏えい試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-200 重大事故等クラス1機器 供用期間中検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	7年間 10年間					
382		点検及び試験の項目	—	開放点検 気密試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	78M 2C					
383		点検及び試験の項目	—	開放点検 気密試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	78M 2C					
384		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-220 その他非常用発電装置 の分解検査 SN2-221 その他非常用発電装置 の機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	26M 169M 1C					
385		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	1C 169M					
386		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度は	—	78M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目 ※	評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
387		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
388		点検及び試験の項目	—	普通点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
389		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	117M					
390		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	117M					
391		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-220 その他非常用発電装置 の分解検査 SN2-221 その他非常用発電装置 の機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	26M 169M 1C					
392		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 169M					
393		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	78M					
394		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
395		点検及び試験の項目	—	普通点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
396		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	117M					
397		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	117M					
398		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M 65M					
399		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	65M					
400		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M 65M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
401		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	65M					
402		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	117M					
403		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 39M					
404		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	117M					
405		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 39M					
406		点検及び試験の項目	—	簡易点検 普通点検 分解点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-220 その他非常用発電装置 の分解検査 SN2-221 その他非常用発電装置 の機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 26M 104M 1C					
407		点検及び試験の項目	—	簡易点検 普通点検 分解点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-220 その他非常用発電装置 の分解検査 SN2-221 その他非常用発電装置 の機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 26M 104M 1C					
408		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
409		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
410		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
411		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
412		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
413		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
414		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
415		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
416		点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
417		点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
418		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 130M					
419		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 130M					
420		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 130M					
421		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 130M					
422		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
423		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	78M					
424		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
425		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	78M					
426		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
427		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
428		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
429		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
430		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
431		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-112 インバータ機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
432		点検及び試験の項目	—	普通点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
433		点検及び試験の項目	—	普通点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
434		点検及び試験の項目	—	普通点検 機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN2-222 直流電源系機能検査 SN2-223 直流電源系作動検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M 1C					
435		点検及び試験の項目	—	普通点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
436		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	3C					
437		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
453		点検及び試験の項目	—	普通点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	26M					
454		点検及び試験の項目	—	普通点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	26M					
455		点検及び試験の項目	—	総合点検 機器点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	1Y 6ヶ月					
456		点検及び試験の項目	—	機能点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	52M、39M					
457		点検及び試験項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	1F					
458		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	4Y					
459		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	4Y					
460		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	4Y					
461		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	4Y					
462		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	4Y					
463		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	4Y					
464		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	4Y					
465		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	4Y					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
466		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
467		保全方式又は頻度	—	130M	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		点検及び試験項目	—	外観点検 非破壊試験					
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					

3. 設計及び工事の計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価		備考 (関連する定期事業者 検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事計画認可・届出対 象工事 又はその他主要工事)	インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		
468	非常用電源設 備 非常用ディー ゼル発電機	高エネルギーアーク放電による電 気盤の損壊の拡大を防止するた めの工事	「通達等 の 文書」	川内原子力発電所第2号機その他発電用 原子炉の附属施設のうち非常用電源設 備において、高エネルギーのアーク放 電による非常用ディーゼル発電機に接 続される電気盤の損壊の拡大を防止す るために必要な措置を講じる。	第25保全サイクルにて工事実施予定のため、今回 の計画に反映する。		

保全活動管理指標の実績

1. プラントレベル（評価対象期間：2020年2月1日～2021年10月31日）

項目	目標値	実績値
計画外自動・手動停止回数	1回／7000臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回／7000臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
化学体積制御系統	未臨界維持機能 (充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【系統共通箇所以外】 <240時間/2サイクル	0時間	
	未臨界維持機能 (ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能 (MS-1)					
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
安全注入系統	炉心冷却機能 (安全注入ライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル 【蓄圧注入系】 <1時間/2サイクル/基	0時間	
	未臨界維持機能 (ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (格納容器スプレイ系への供給機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉停止後の除熱機能、炉心冷却機能 (余熱除去系統経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
余熱除去系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
原子炉格納容器スプレイ系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【よう素除去薬品タンク】 <72時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
原子炉補機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
燃料取替用水系統	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<1時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)					
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	【燃料取替用水タンク】 <1時間/2サイクル 【燃料取替用水タンク以外】 <240時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
燃料取扱設備構築物	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (格納容器給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (アニュラス空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (格納容器排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (安全補機室給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1) 未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1) 原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (事故時サンプリングエリア給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (補助給水ポンプ室換気系)	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (制御用空気圧縮機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (安全補機開閉器室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <8時間/2サイクル Bトレイン <8時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (中央制御室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)					
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	0時間	
空調用冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスタ案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
燃料集合体及び非核燃料炉心構成品	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
原子炉格納施設	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロック	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
1次系サンプリング系統	事故時のプラント状態の把握機能 (1次冷却材ほう素濃度サンプリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
主蒸気系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【主蒸気逃がし弁】 <168時間/2サイクル/基	0時間	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/基	0時間	
主給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【タービン動補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプAトレイン】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプBトレイン】 <240時間/2サイクル 【復水タンク】 <168時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
蒸気発生器ブローダウン系統	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
原子炉補機冷却海水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3)	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
所内電源系統 (M/C、P/C)	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/母線	0時間	
	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
所内電源系統 (C/C)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/母線	0時間	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<2時間/2サイクル/母線	0時間	
直流電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【直流母線】 <2時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 <240時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 <2時間/2サイクル/基	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非 待 機 時 間 (U A 時 間)		備 考
		目標値	実績	目標値	実績	
安全系ヒートトレース設備	未臨界維持機能（直接関連系）（MS-1）	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御棒駆動装置（機械系）	過剰反応度の印加防止機能（FS-1）	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能（MS-1）	<1回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能（原子炉停止系のうち制御棒による系の直接関連系）（MS-1）	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御棒駆動装置（電気系）	原子炉の緊急停止機能（MS-1）	<1回/サイクル	0回	【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トレイン	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<2回/サイクル	0回	—	—	
ディーゼル発電機始動空気系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機燃料油系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能（PS-2）	<2回/サイクル	0回	—	—	
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能（MS-1）	<1回/サイクル	0回	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【原子炉保護系信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル（手動トリップ） <6時間/2サイクル/チャンネル（自動トリップ） （ただし、中間領域による自動トリップは <2時間/2サイクル/チャンネル） <1時間/2サイクル/チャンネル（インターロック）	0時間	
		<1回/サイクル	0回	【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【工学的安全施設等作動信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル（手動起動） <6時間/2サイクル/チャンネル（自動起動） <1時間/2サイクル/チャンネル（インターロック） 【ディーゼル発電機起動論理回路への信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネル 【中央制御室非常用循環系論理回路への信号発信】 <720時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<1回/サイクル	0回	—	—	
炉外核計装装置	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<2回/サイクル	0回	—	—	
エリア・プロセスモニタ装置	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<2回/サイクル	0回	—	—	
中央制御室外原子炉停止盤	制御室外からの安全停止機能（MS-2）	<2回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル	0時間	
原子炉補助建屋	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	0回	—	—	
取水路設備	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非 待 機 時 間 (U A 時 間)		備 考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル	0時間	
	1次系フィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	充てん/高圧注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	0時間	
	炉心注入をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	炉心注入 — 代替炉心注入 (B充てん/高圧注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注入 (可搬型電動低圧注入ポンプ又は 可搬型ディーゼル注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替再循環運転 <72時間/2サイクル	0時間	
	1次冷却系統の減圧をするための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	加圧器逃がし弁による減圧 <240時間/2サイクル	0時間	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回	原子炉格納容器スプレイ — 代替原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	0時間	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 移動式大容量ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル	0時間	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル	0時間	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回	水素濃度低減<72時間/2サイクル 水素濃度監視<720時間/2サイクル	0時間	
	水素爆発による原子炉補助建屋等の損傷を防止する等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル	0時間	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
	重大事故等の収束に必要な水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク補給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取替用水タンク、復水タンク <72時間/2サイクル	0時間	
	電源設備	<1回/サイクル	0回	電源設備 (変圧器車、可搬型分電盤以外) <720時間/2サイクル 変圧器車、可搬型分電盤 <240時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ <48時間/2サイクル	0時間	
	計測設備	<1回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル 記録機能 —	0時間	
	中央制御室	<2回/サイクル	0回	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	0時間	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
特定重大事故等対処施設		<1回/サイクル	0回		0時間	監視期間：2020年12月16日～
	代替注入（炉心注入及び原子炉格納容器スプレイ）をするための設備(SA-1)	<1回/サイクル	0回		0時間	
	フィルタベントをするための設備(SA-1)	<1回/サイクル	0回		0時間	
	緊急時制御室(SA-1)	<1回/サイクル	0回		0時間	
	電源設備	<1回/サイクル	0回		0時間	
	計装設備	<1回/サイクル	0回		0時間	
	通信連絡設備	<2回/サイクル	0回		0時間	

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の
实用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし